



# 三城ものがたり

やさしく かしこく たくましく

令和7年12月23日  
大村市立三城小学校  
発行 石司 貴弘

## 学力調査は 子供たちを応援するもの ～ 自分を知り、さらに高める手がかりをつかむ ～

令和7年度 3学期実施版

標準学力調査+  
しょうがっこう だい1がくねん

# こくご

じかん：40ぶん

今日は学力テスト・・・イヤだなあ。  
校長先生、なんでテストってするんですか？子供が嫌がることをする  
なんて、大人は意地悪ですね。テストなんかやめてください！

ある4年生の男の子と一緒に登校していた時の会話です。半ば冗談交じりに、でも表情は真剣そのもの。心の底からの訴えを投げかけてきました。**保護者の皆様は、子供の問いにどう答えますか？**

子供たちが学校で受けるテストには、いろいろなものがあります。

- ☆漢字の書き取りや計算問題などの、5問あるいは10問程度の「小テスト」
  - ☆単元(学習のひとまとまり)を終えた後の「確認(単元)テスト」・・・市販のものを使用
  - ☆6年生の子供が受ける「全国学力・学習状況調査」・・・文部科学省が実施
  - ☆5年生の子供が受ける「長崎県学力調査」・・・長崎県教育委員会が実施
  - ☆全学年の子供が受ける「標準学力調査」・・・大村市教育委員会が実施
- 主なものだけでもこれだけあります。学年によってはこの他にも適時・適切に行われます。



多くの子供たちにとって、テストは・・・

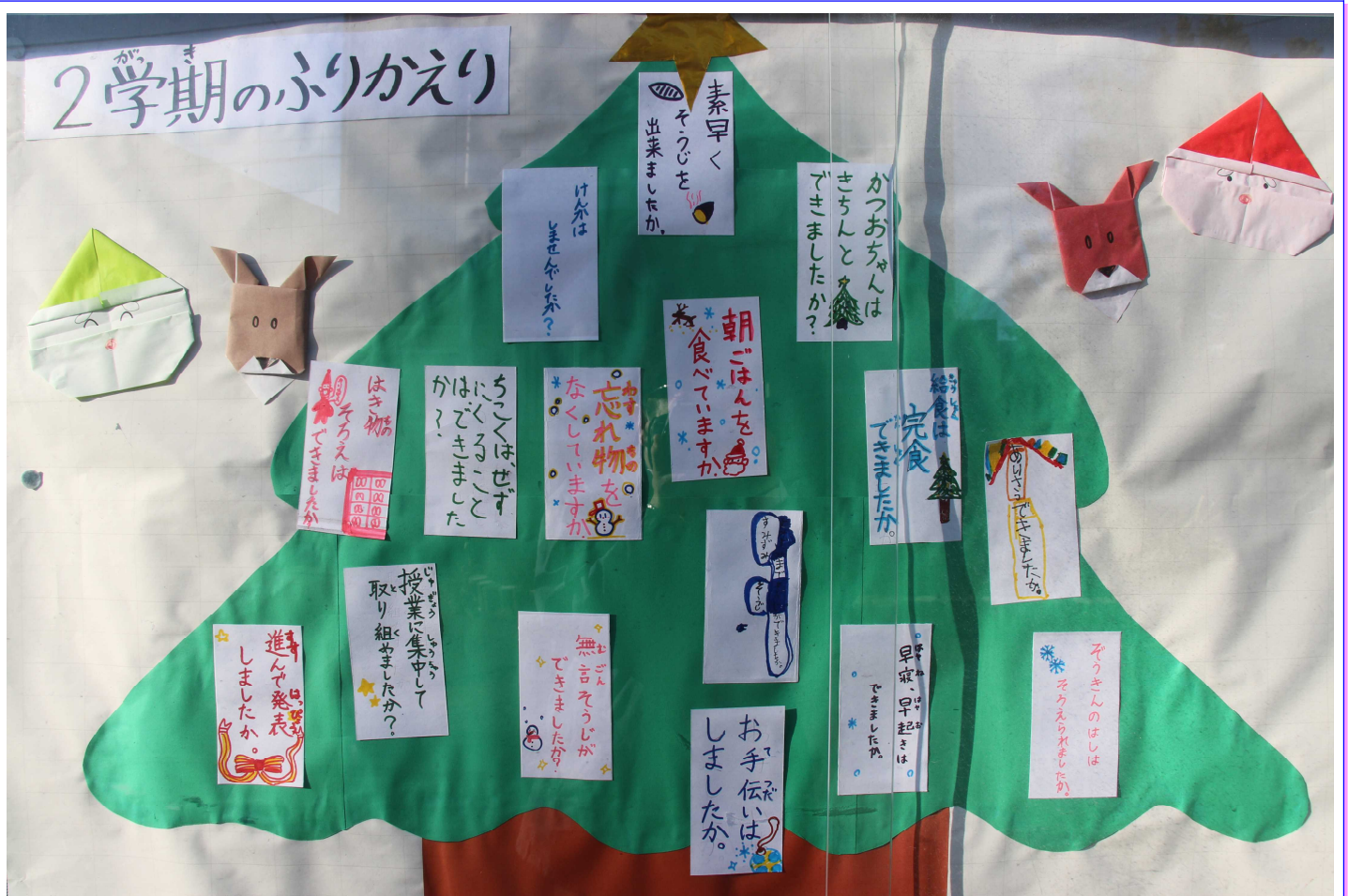
- △ 緊張を強いられるもの
- △ もし、思うような結果が出ないとショックを受ける
- △ 悪い点数だと、教師や親に叱られる(?)

というように、少なからず重圧がかかるのでしょう。自分自身が子供の時もこんな風に考えていました。

私は、「テストをやめて」と訴えてきた男の子に対して、**「テストをすることで、あなたの得意なこと、苦手なことがわかりますよ。まちがえたところをもう一回やり直してできるようにになれば、あなたの得意なことが増えますよ。」**と答えました。子供が納得したかどうかはわかりませんが、少なくとも「テストは子供に対する意地悪でないことは強調しました。**通知表**もまた同じです。

どうか、テストを自分の力を伸ばすチャンスととらえてほしいのです。ご家族の皆様も、結果に対してお子さんの苦手な部分を克服するような**励まし**をいただければ幸いです。教師とご家族で子供たちを応援しましょう。





## 2学期のくらしを振り返ります 3学期につなげます

なんと素敵な掲示物でしょう！ 本校職員のアイデアで、校内に掲示されています。私が心を惹かれたのは、カードに書かれている文字が、子供たちの手で書かれたものであることです。子供たちが、お互いに、そして自分自身に対して、2学期の学び・くらしの様子を問いかけています。問われていることの一つ一つを見ると、みんなで目標として取り組んだことです。取り組み方はどうだったのか？取り組んだ成果はあったのか？反省すべきことはないか？子供が自問自答することができます。

家庭でも学校でも、大人が子供に対して振り返りを促すことも当然必要です。しかし、こんな風に「自分自身に問わせる機会」をつくることは、とても貴重ですね。この経験をすると、大人になっても自らの行いを振り返り、**成果には自信**が、**課題には解決意欲(向上心)**が生まれます。

新年(3学期)に取り組むめあてを見定めて、取り組む子供たちを応援していきます。

### 学級閉鎖(関係学級のみ臨時休業)について



インフルエンザの流行によって、市内小中学校では多数の学校において学級閉鎖措置を行っています。保護者の皆様はもとより、放課後児童クラブを運営する事業所様にもご協力をいただいていることに感謝です。学級閉鎖は、感染症の予防について必要があるとき、学校の設置者(大村市)が、決定します。単に感染者数だけではなく、感染者の増減の傾向などの状況を見て判断します。決定する上で、学校医の助言もいただくことになっています。ご理解をいただきますようお願いいたします。